

## 平成16年度の総合水産試験場の取り組みについて

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

### はじめに

総合水産試験場は、平成9年の供用開始以来、今年で8年目を迎えました。皆様方には、当水試の試験研究の推進に多大のご支援とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

平成13年に、これから10年の本県の水産業の振興方向を定めた「長崎県水産業振興基本計画」が策定されましたが、当試験場においても、同年に「総合水産試験場試験研究基本計画」を策定し、「長崎県水産業振興基本計画」に基づいて実施される各種施策の実現に必要な試験研究及び技術開発を計画的に進めております。

当試験研究基本計画では、9つの研究開発の推進方向を定めていますが、「持続可能な水産業の振興」を積極的に推進していくため、中でも「放流技術の向上による栽培漁業の充実」「水産資源の的確な評価と持続的利用」「沿岸環境保全対策の推進」「水産物の高付加価値化の推進」に重点を置き、取り組んでいるところであります。

また、「開かれた試験場」として、加工設備などの各種設備や施設を広く開放し、水産業界や県民の要望に即した試験研究を行っております。

### 分野別の研究事業件数と事業費

(研究分野)	(件数)	(万円)
水産資源・漁業技術	6	2,734
栽培漁業	4	1,284
沿岸環境保全	10	4,887
水産養殖	4	1,630
種苗生産	3	5,965
(放流用及び養殖用)		
水産加工	3	1,015
その他	2	2,300
(プロジェクト研究)		
合計	32	19,815

### 主な事業と新規事業の紹介

(事業費 万円)

#### 1 資源管理体制強化実施推進事業

383

漁海況に関する的確な情報を漁業者に提供するため、沿岸域における漁況海況情報の収集分析を行い、漁海況速報や週報などを提供して、資源管理の実施推進を図ります。

#### 2 有明海漁場モニタリング調査事業(新規)

600

近年、魚介類の減少やノリの不作等が起きている有明海において、有明海等特別措置法に基づく長崎県計画のもと、有明海の漁場環境や有用魚種の資源動向を把握し、資源回復対策に役立てます。

#### 3 有害赤潮動向調査事業(新規)

300

コックロダイニウム等有害赤潮の消長予測(発生した赤潮がいつまで続くか等)の技術を開発し、赤潮被害対策として有効な「餌止め」の徹底励行や漁場監視強化の根拠資料とし、漁業被害防止に役立てます。

#### 4 第二期魚介類種苗量産技術開発研究

4,263

新たな放流用種苗及び養殖用種苗を大量生産する技術を開発し、県下の種苗生産機関へ技術移転することにより、種苗量産技術の実用化を図ります。(現在の取組種マハタ、アカアマダイ、オニオコゼなど)

#### 5 養殖衛生管理体制整備事業(新規)

461

魚類に使用される医薬品の適正使用やワクチン投与等の指導、食品衛生や環境保全に対応した養殖衛生管理技術の普及や養殖場の調査監視、薬剤耐性菌の実態調査などを行います。

#### 6 水産物流通加工技術高度化支援事業

347

水産加工施設・機器の開放や加工技術の相談への

対応、加工技術マニュアルの作成などにより、加工業界の技術の高度化、地域製品の品質向上、新製品開発の技術支援などを行います。

### 連携プロジェクトへの取組み

横断的・総合的な研究開発を一元的に推進するため、当総合水産試験場を含む県下7つの公設試験研究機関を連携・統括する科学技術振興課が、昨年4月に設置され、各公設試験場のもと、水産試験場でもプロジェクト研究に取り組んでいます。

15年度からは、磯焼けなどにより喪失した藻場の再生を目的とした「藻場再生プロジェクト」に取り組んでおり、16年度からは、養殖魚等の生産履歴表示システムの開発を目的とした「ICタグプロジェクト」にも取り組んでまいります。

### 西海区水産研究所および長崎大学との連携

当総合水産試験場の隣接地に「独立大学法人長崎大学水産学部附属海洋資源教育研究センター」がありますが、さらに昨年7月には「独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所」が新築移転しました。国、大学、県レベルの水産研究機関が、1つの地区に集積することは全国的にも例がなく、今後この3研究機関が集積の効果を発揮し「地域水産業への貢献」などに、連携して取り組んでまいります。

### おわりに

以上、本年度の取り組みの概要を紹介しましたが、総合水産試験場は、今後とも「開かれた総合水産試験場」として、漁業者の目線に立ち、水産業に直結し役立つ試験研究を推進してまいりますので、皆様のご意見、ご要望がありましたら、最寄りの水産業普及指導センターか、直接、総合水産試験場までご連絡いただきますようお願いいたします。

総合水産試験場の連絡先

企画開発推進室 電話 095(850)6294



水試全景



マハタの種苗（日令20(6mm)）



水産用ワクチンの講習会



漁協婦人部の加工研修会